

E I A STEO 2020.November

Forecast Highlights

・10月のブレント原油スポット平均価格は40^{ドル}/b、9月平均から1^{ドル}下落しました。ブレント価格が10月に下落したのは、リビアで停止されていた原油生産がオンラインに戻ったこと、新型コロナウイルスの感染が多くの国で増加し始めたため、今後数か月で石油需要が減少する可能性があることによる。これらにもかかわらず、米国エネルギー情報局（EIA）は、世界の石油在庫が今後数か月減少し続けると予想しています。しかし、EIAは、世界の石油在庫レベルが高く、原油の余剰生産能力が石油価格の上昇圧力を制限し、ブレント価格が2020年末まで40^{ドル}/b近くにとどまると予想しています。世界の石油需要が増加し、在庫が減少する見込みの2021年には、石油価格の上昇圧力が発生します。EIAは、ブレント原油の価格が2021年に平均47^{ドル}/bになると予測しています。

・EIAは、10月に世界で平均9,530万b/dの石油および液体燃料が消費されたと推定しています。液体燃料の消費量は2019年10月から590万b/d減少しましたが、2020年第3四半期の平均である9,410万b/d、2020年第2四半期の平均である8,530万b/dから増加しました。EIAは、石油および液体燃料の世界消費量は、2020年平均9,290万b/dであり、2019年から860万b/d減少し、2021年には590万b/d増加すると予測しています。

・EIAは、8月（過去のデータが入手できる最新の月）に米国で1,060万b/dの原油が生産され、7月から40万b/d減少したと報告しました。8月の生産減少主な理由は、ハリケーンが米国メキシコ湾からの生産を妨害したことによるものです。EIAの報告によると、メキシコ湾での米国の原油生産量は8月平均で120万b/dで、7月から50万バレル/日減少しました。生産者が井戸を縮小した5月に2年半ぶりの最低値である1,000万b/dに至って以来、米国の原油生産は、タイトオイル事業者が価格の上昇に対応して井戸をオンラインに戻したことが主な理由で増加しました。EIAは、11月の生産量が1,120万b/dに増加すると予測しています。しかし、EIAは、新しい掘削活動では既存の坑井からの減少を相殺するのに十分な生産量が得られないため、2021年の第2四半期に米国の原油生産量は平均1,100万b/dに減少すると予測しています。EIAは、掘削活動が2021年後半に増加し、2021年の第4四半期に米国の原油生産量が1,130万b/dに達すると予測しています。EIAは、米国の原油生産量が2019年の1,220万b/dから2020年には1,140万b/d、2021年には1,110万b/dに減少すると予測しています。